

食品のリスクを考えるワークショップ(広島)－知ろう防ごう食中毒－

参 加 者 数	33
アンケート回収数	33

<アンケート記入者について>

①性別

回答内容	件数	割合
男性	18	54.5%
女性	15	45.5%
無回答	0	0.0%
計	33	100.0%

②年齢

回答内容	件数	割合
20歳未満	0	0.0%
20歳代	1	3.0%
30歳代	3	9.1%
40歳代	4	12.1%
50歳代	9	27.3%
60歳代	10	30.3%
70歳代以上	6	18.2%
無回答	0	0.0%
計	33	100.0%

③職業(立場)

回答内容	件数	割合
①消費者団体	0	0.0%
②主婦・学生・無職	11	33.3%
③生産者	0	0.0%
④食品関連事業者・団体	9	27.3%
⑤マスコミ	0	0.0%
⑥行政(自治体職員、独法職員)	5	15.2%
⑦食品関連研究・教育機関	2	6.1%
⑧その他	4	12.1%
()		
無回答	2	6.1%
計	33	100.0%

その他()

広島市食品衛生協会
在宅栄養士
自由業

④意見交換会情報入手手段

回答内容	件数	割合
食品安全委員会HP	1	3.0%
広島市からの案内資料	16	48.5%
食品安全委員会メールマガジン(e-マガジン)	2	6.1%
関係者からのご案内資料ご案内資料	12	36.4%
知人からの紹介	0	0.0%
その他	2	6.1%
無回答	0	0.0%
計	33	100.0%

その他()

市のホームページ
呉市

⑤あなたは「100%安全な食品はないこと」について、どう思われますか？

回答内容	件数	割合
強くそう思う	22	66.7%
ややそう思う	10	30.3%
あまりそう思わない	0	0.0%
全くそう思わない	0	0.0%
わからない	1	3.0%
無回答	0	0.0%
計	33	100.0%

問2. 本日のワークショップについて

①意見交換会に参加した目的

回答内容	件数	割合
①食中毒予防について理解を深めたかつ	10	30.3%
②食中毒予防について自分の意見や考え	0	0.0%
③他の参加者の意見や考えを聞いたかつ	9	27.3%
④これまでにない取組で面白そだつたか	0	0.0%
⑤少人数で相互対話に関心があつたから	1	3.0%
⑥国、自治体の行うリスクコミュニケーション	9	27.3%
⑦その他	0	0.0%
()	4	12.1%
無回答	4	12.1%
計	33	100.0%

②どの程度満足できるものでしたか？

回答内容	件数	割合
①十分満足	4	12.1%
②ほぼ満足	22	66.7%
③あまり満足できなかつた	5	15.2%
④まったく満足できなかつた	0	0.0%
⑤どちらでもない	1	3.0%
無回答	1	3.0%
計	33	100.0%

③、④満足できなかつたと答えた方に伺います。

満足できなかつた点(具体的に)

時間が足りない、時間・内容ともに少し足りない
各グループの発表時間と、発表に関する検討時間が少ない。
厚労省、安全委、市の連携が十分取れていない感じがした。
コメント者と受講生の質疑応答がほしかった。
難しい話が多かった。もっと家庭など、現実的な数値で説明してほしかった。国内流通の汚染データなど難しい。専門的すぎると思います。

問3. 本日のワークショップについてどう思われたか？

回答内容	件数	割合
①評価する	15	45.5%
②まあまあ評価する	15	45.5%
③あまり評価しない	1	3.0%
④まったく評価しない	0	0.0%
無回答	2	6.1%
計	33	100.0%

理由
グループで話すことにより、理解が深まりました。
参加型の方が、やはり意見出やすい。
多様な意見を聞くことができる。
個人的な意見も参考になりました。
意見交換の時間がもう少しあればよかったです。
食中毒についてわかりましたが、今まで勉強した事も多く、新しい勉強が少ないように思いました。
同じ目線で、他の方のお話を聞ける。
いろいろな立場の人の話を聞くことができた。
いろいろと知らないことが多かったので、勉強になった。
大変勉強になりました。どうもありがとうございました。
但し、意見の交換では新しい知見は少ないと思います。一つ掘り下げた事を行政から報告するのも入れてもらえたうれしかったです。
自分も参加しているという感じが強くありました。
とても興味深いひと時でした。参加型なので私も食中毒について真剣に考えました。
簡易○法？での討議時間が管理不足でした。
業界、消費者、各省庁をまじえて、 共通の言語 で行うところ。
自分が気をつけている食中毒予防と一致した。
色々な意見がでて、新しい考え方ができ、よかったです。
当り前のことに注意すれば、かなり防げるのではと考えながら、予想できない細部に於ける部分もあるので、難しい件もある。
一般(消費者)を対象にして行うには極めて効果が高いと思う。どうして一般人に広めるかが課題か。
多様な考え方を見ることができた。自分の考え方を表すことができる。

問4. 意見交換会の進め方について、意見交換会の全体の印象を通じて感じた印象は？

i. 意見交換会の開催手続きは適切であった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	7	21.2%
④そう思う	21	63.6%
③あまりそう思わない	3	9.1%
④そう思わない	1	3.0%
無回答	1	3.0%
計	33	100.0%

ii. 情報提供「食中毒の現状について」はわかりやすかった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	8	24.2%
②そう思う	22	66.7%
③あまりそう思わない	2	6.1%
④そう思わない		0.0%
無回答	1	3.0%
計	33	100.0%

iii. グループディスカッションの進行役の進め方は良かった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	7	21.2%
②そう思う	23	69.7%
③あまりそう思わない	3	9.1%
④そう思わない		0.0%
無回答		0.0%
計	33	100.0%

iv. 意見交換時に回答者は質問にきちんと回答していた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	3	9.1%
②そう思う	26	78.8%
③あまりそう思わない	2	6.1%
④そう思わない	1	3.0%
無回答	1	3.0%
計	33	100.0%

V. 食中毒の原因及びその予防方法について参加する前に比べ理解が深まった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	8	24.2%
②そう思う	21	63.6%
③あまりそう思わない	3	9.1%
④そう思わない	1	3.0%
無回答		0.0%
計	33	100.0%

vi. 自分の食生活に今回のワークショップで知った内容はいかせる

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	10	30.3%
②そう思う	18	54.5%
③あまりそう思わない	3	9.1%
④そう思わない	2	6.1%
無回答		0.0%
計	33	100.0%

vii. グループワークの中で、他の参加者の意見を聞き、話すことは良かった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	13	39.4%
②そう思う	19	57.6%
③あまりそう思わない	1	3.0%
④そう思わない		0.0%
無回答		0.0%
計	33	100.0%

問5. 本日の意見交換会について、ご意見やご感想をお書き下さい

資料とページ数を伝えて説明すれば、より親切と思います。
進行管理は難しい
熊谷優子室長の声はすごくいい。とても聞きやすく、耳になじみがよく、思わず納得してしまう「声」にうつりました。
ワークショップのテーマ、参加者を中心に意見・発表会をもっと多く取り入れたらどうか
長い間主婦をしていますが、食中毒について知っていたようで知らないことがたくさんあることに気付きました。大変勉強になりました。参加させていただいて本当によかったです。
全体的に意見交換、質疑応答時間の十分な確保が欲しかった。
資料は配布のみでなく、全て説明するぐらいの努力がほしい。
グループ内でも話し合いが不十分
「まとめ」は全員にコピーしてほしい！
高齢化の進む今、正しい知識のない一人暮らしの老人も多い。冷蔵庫の中を見ると、いつ作ったか分からない煮物や、期限の過ぎた食品がいっぱい。「ばあちゃん、これ期限が切れとるよ。」「大丈夫じゃ、まだ食べられる。」誰が指導してやれるのか。
・ これらの教育は小学校から行うべきと思う(米国ではゲーム化している)。また、リスクに文化省をいれること！(学校給食はリスクが高い。)
・ この場合、食の安全と衛生を分けて教えた方が良いと思う。(Ex. 肉の加熱(安全)と、冷蔵庫の清掃(衛生))
少し時間が長すぎるように思いました。
基本は、本人が良いか悪いか判断することが大切。みんなが、過剰な反応を避けることが大切。
もっと一般市民が取り組みしやすい内容、説明をしてほしい。説明が長すぎて疲れるので、もっと参加型の意見交換会にしてほしい。でも、他の方の意見を聞けて、勉強になりました。ありがとうございました。
短期間で効果の有る方法が必要。パンフレット説明でない方法も考慮すべきと思われます。発想の転換を期します。